

取扱説明書

FORIS[®] FS2735

カラー液晶モニター

重要

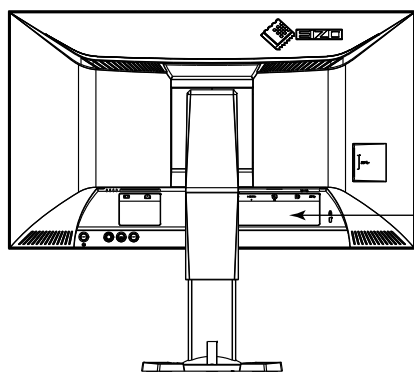
ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。この取扱説明書は大切に保管してください。

- コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWeb サイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



警告表示位置



WARNING

RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN.

AVERTISSEMENT

RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE. NE PAS OUVRIR.

WARNUNG

GEFAHR DES ELEKTRISCHEN SCHLAGES. RÜCKWAND NICHT ENTFERNEN.

警告
触电危険，请勿打开后盖。

警告
感電の恐れあり，カバーをあけないでください。

The equipment must be connected to a grounded main outlet.

L'appareil doit être relié à une prise avec terre.

Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.

Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.

设备必须连接到接地的电源插座。

電源コードのアースは必ず接地してください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに

モニターについて

この製品は、ビデオゲームの表示やマルチメディアコンテンツの閲覧などの用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することにより輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げてください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押ししたり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

快適にご使用いただくために

● 眼の健康のために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

● クリーニングの仕方

注意点

- ・アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- ・キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

目次

はじめに.....	3	第4章 カラーを調整する.....	25
モニターについて.....	3	4-1. 表示モード（カラーモード）を選択する.....	25
快適にご使用いただくために.....	4	4-2. 詳細な調整をする.....	26
● 眼の健康のために.....	4	● 各モードの調整項目.....	26
● クリーニングの仕方.....	4	4-3. ブライトネス（明るさ）を調整する.....	27
目次.....	5	4-4. コントラストを調整する.....	27
第1章 この製品の機能.....	7	4-5. 色温度を調整する.....	28
1-1. この製品の特長.....	7	4-6. ガンマを調整する.....	28
1-2. 各部の名称と機能.....	8	4-7. 色合いを調整する.....	29
● 前面.....	8	4-8. 色の濃さを調整する.....	29
● 背面.....	9	4-9. ゲインを調整する.....	30
1-3. カラー調整ソフトウェア.....	10	4-10. 黒の明るさを調整する.....	30
● G-Ignition.....	10	4-11. 動画のボケを軽減する.....	31
● G-Ignition Mobile.....	11	4-12. コントラスト拡張の強調度合いを設定する...31	
1-4. 基本操作と機能一覧.....	12	4-13. オーバードライブの強さを設定する.....	32
● 設定メニューの基本操作方法.....	12	4-14. カラー調整値をリセットする.....	32
● 機能一覧.....	14	4-15. カラーフォーマットを設定する.....	33
第2章 接続する.....	16	4-16. 表示階調を設定する.....	34
2-1. スマートフォンとBluetoothで接続する.....	16	4-17. インターレース信号の表示方法を選択する...34	
● 接続情報を確認する.....	17	第5章 モニターを設定する.....	35
2-2. 複数の外部機器を接続する.....	18	5-1. 入力信号を自動的に判別する.....	35
● 入力信号を切り替える.....	18	5-2. 特定の入力信号を選択の対象外にする.....	35
2-3. 外部スピーカーを接続する.....	19	5-3. 特定のカラーモードを選択の対象外にする...36	
2-4. USB（Universal Serial Bus）の活用について19		5-4. 音源を切り替える.....	36
● 必要なシステム環境.....	19	5-5. 音量を調整する.....	37
● 接続方法（USB機能のセットアップ方法）...20		5-6. 音声のレベルを調整する.....	37
第3章 画面を設定する.....	21	5-7. 表示ランプの明るさを設定する.....	38
3-1. 対応解像度/対応フォーマット.....	21	5-8. 表示言語を設定する.....	38
● DisplayPort信号入力時.....	21	5-9. 初期設定に戻す.....	39
● HDMI（PC信号）、DVI-D信号入力時.....	21	5-10. モニター情報を確認する.....	39
● HDMI（ビデオ信号）入力時.....	22	5-11. 管理者向け設定をおこなう.....	40
● 音声信号.....	22	● 管理者向け設定メニューの基本操作方法.....	40
3-2. 画面サイズを切り替える.....	23	● EIZOロゴを表示/非表示にする.....	40
● DisplayPort信号入力時、DVI-D信号入力時、HDMI（PC信号）入力時.....	23		
● HDMI（ビデオ信号）入力時.....	24		
3-3. 設定メニューの向きを変更する.....	24		

● 操作ボタンをロックする	40	Bluetoothに関する注意.....	63
● 信号フォーマットを切り替える	41	アフターサービス	64
● 互換性モードを使う.....	41		
第6章 Smart機能を使用する.....	42		
6-1. 各モードの調整項目	42		
6-2. 解像感の自動補正を設定する	42		
6-3. 明るさの自動補正を設定する	43		
6-4. 設定状態を確認する	44		
第7章 省電力機能について.....	45		
7-1. パワーセーブを設定する.....	45		
● モニター	45		
7-2. モニターの自動明るさ調整を設定する	46		
第8章 こんなときは.....	47		
8-1. 画面が表示されない場合.....	47		
8-2. 画面に関する症状.....	48		
8-3. その他の症状.....	49		
第9章 部品の取付方法/取外方法.....	50		
9-1. オプションアーム.....	50		
● オプションアーム（オプションスタン ド）の取付方法.....	50		
● 元のスタンドの取付方法	51		
9-2. スタンドベース	52		
● 取外方法.....	52		
● 取付方法.....	52		
9-3. ケーブルホルダー.....	54		
● 取付方法.....	54		
● 取外方法.....	55		
第10章 仕様	56		
第11章 用語集.....	59		
付録	62		
商標	62		
ライセンス/著作権.....	63		
VCCI.....	63		
その他規格	63		

第1章 この製品の機能

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. この製品の特長

画面

- 27.0型ワイド画面
- 解像度2560×1440対応
- 広視野角パネル採用
IPSパネルによる上下178°、左右178°の広視野角を実現
- 垂直走査周波数144Hzに対応し、高い動画応答性能を実現※1
※1 推奨解像度を144Hzで表示するためにはDisplayPortで接続する必要があります。
- カラーモード機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
「4-1. 表示モード (カラーモード) を選択する」 (P.25) 参照
- EIZO独自の「Smart」技術を搭載
 - Smart Resolution (スマートレゾリューション) 機能
画像の解像感を調整することで、ぼやけを改善して鮮やかでクリアな表示にすることができます。
 - Smart Insight Demolition (スマートインサイトデモリション) 機能
画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗い部分、明る過ぎる部分を見やすくすることができます。また、色の鮮やかさも増します。
「第6章 Smart機能を使用する」 (P.42) 参照
- 画面表示遅延0.05フレーム未満を実現
ゲーム操作を画面に0.05フレーム未満で表示することで、マウス、キーボードなどの操作が瞬時に画面に反映されます。
- EyeCare調光方式を採用
輝度全域で画面のちらつきを抑制することで、LEDのちらつきが気になる方でも安心して使用できます。
- AMD FreeSyncテクノロジー対応
画面表示の遅延やティアリングを抑え、ゲームに集中できる環境を提供します。
「信号フォーマットを切り替える」 (P.41) 参照

操作

- カラー調整ソフトウェア「G-Ignition」「G-Ignition Mobile」対応
コンピュータやスマートフォンを使って画面を調整し、調整値をファイルとして共有することができます。
「G-Ignition Mobile」を使うと、スマートフォンをリモコンの代わりとしてモニターを操作できます。
「1-3. カラー調整ソフトウェア」 (P.10) 参照
- コントロールボタンによるメニュー操作
設定メニューの操作に、中央と、上下左右の5方向に押せるジョイスティック型のボタンを採用。ゲームコントローラー感覚で直感的に操作できます。

接続

- 4系統のデジタル信号入力に対応 (DisplayPort×1、DVI-D (Dual Link/Single Link) ×1、HDMI×2)
 - DisplayPort (8bit対応) ※1
映像信号と音声信号を、1本のDisplayPortケーブルで転送できます。
※1 DisplayPortケーブルを使って音声信号を伝送する場合、ご使用のグラフィックスボードが、音声出力に対応している必要があります。
「仕様一覧」 (P.56) 参照

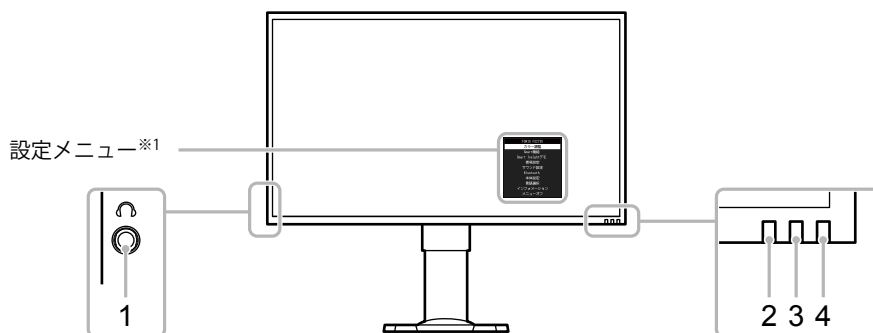
- HDMI
HDMI入力でPC信号に対応。
映像信号と音声信号を、1本のHDMIケーブルで転送できます。
- USB 3.0に対応したUSBハブ機能を搭載
最大5Gbpsの高速データ転送を実現し、USBメモリなどの大容量データも短時間で転送できます。
- ステレオスピーカー、ヘッドホンジャック装備
「1-2.各部の名称と機能」(P.8) 参照
- ライン出力コネクタ搭載
アンプ内蔵のスピーカーを接続し、音声を出力することができます。
「2-3.外部スピーカーを接続する」(P.19) 参照
- HDCP (著作権保護技術) により保護されたコンテンツを表示可能

機構

- 狭額ベゼル
ベゼル部が薄いため、マルチモニター使用時でもエンターテインメントの画面没入感を高めます。
- 可動範囲の広いスタンドを採用
作業しやすく疲れにくい快適な位置にモニターを調整できます。
チルト：上35° /下5°、縦回転：左回り90° /右回り90°、昇降：145mm (チルト：35° 時) /155mm (チルト：0° 時)
- コントロールボタンと内蔵スピーカーをモニター背面に配置
操作ボタンと内蔵スピーカーが目につきにくい、スタイリッシュなデザインです。

1-2. 各部の名称と機能

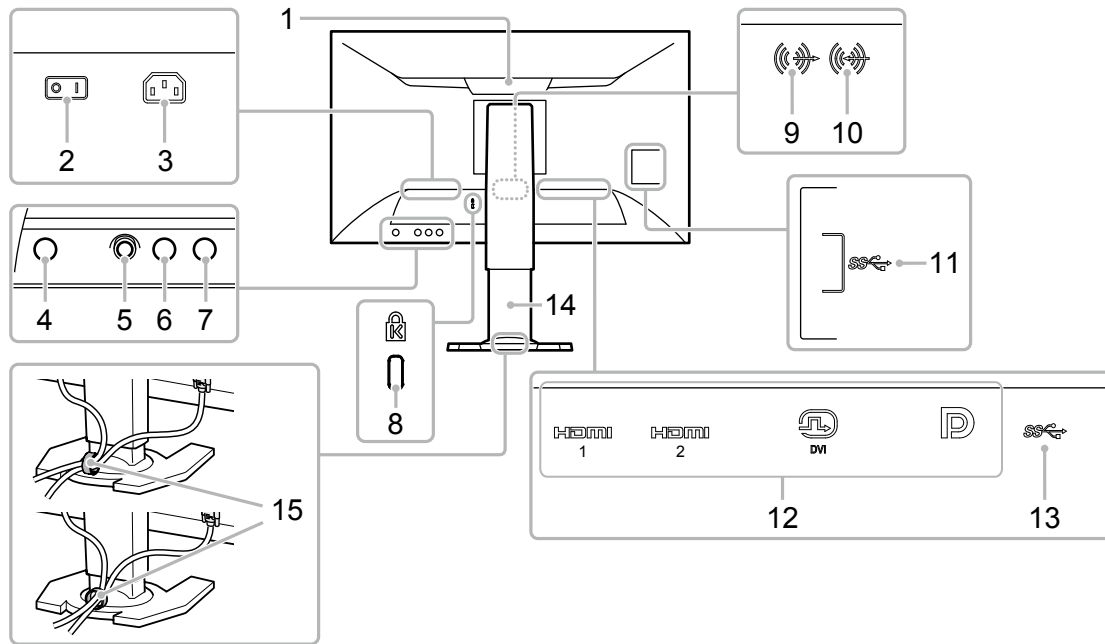
● 前面



1. ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。
2. Auto EcoViewセンサー	周囲の明るさを検知します (Auto EcoView (オートエコビュー) 機能 (P.46))。
3. 通知ランプ	G-Ignition Mobile (P.10) 使用時に、スマートフォンとの接続状態、およびスマートフォンからの通知の有無を表します。 白： 接続あり、通知なし 青： 接続あり、通知あり 消灯： 接続なし
4. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 白： 画面表示 橙： 省電力モード 赤： FreeSyncオン (P.41) 消灯： 電源オフ/主電源オフ

※1 使用方法は、「設定メニューの基本操作方法」(P.12) を参照してください。

● 背面



1. 持ち手	運搬用の持ち手です。 注意点 ・ 運搬時には持ち手と画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないようご注意ください。
2. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。(I: オン、O: オフ)
3. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
4. 電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
5. コントロールボタン	設定メニューを5方向の操作により入力します (P.12)。
6. カラーモード切替ボタン	カラーモードを切り替えます。
7. 入力信号切替ボタン	表示する入力信号を切り替えます。
8. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
9. ライン出力コネクタ	(ステレオミニジャック) アンプ内蔵のスピーカーを接続します (P.19)。
10. ライン入力コネクタ	(ステレオミニジャック) コンピュータなどの外部機器を接続します。
11. USBダウンストリームポート	USBに対応している周辺機器と接続できます。
12. 信号入力コネクタ	左から、 HDMIコネクタ (HDMI1) HDMIコネクタ (HDMI2) DVI-Dコネクタ DisplayPortコネクタ コンピュータなどの外部機器を接続します。
13. USBアップストリームポート	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します (P.19)。
14. スタンド※2	高さや角度 (チルト、ローテーション) が調整できます。
15. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム (またはオプションスタンド) に取り付けることができます (「9-1. オプションアーム」 (P.50) 参照)。

1-3. カラー調整ソフトウェア

この製品は、無料の専用カラー調整ソフトウェアG-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して調整/操作を行うことができます。

G-Ignition、G-Ignition Mobileでは、コンピュータやスマートフォンから、モニターに対する調整/操作ができます。また、カラー調整データをファイルに保存して送受信するなど、より高度で便利な処理が可能です。活用をお勧めします。

● G-Ignition

コンピュータから、モニターの調整/設定/操作ができるソフトウェアです。

ソフトウェアおよび取扱説明書（PDF）は、EIZO LCDユーティリティディスク（CD-ROM）に収録されています。

特長

- ・ モニターのカラー調整機能を、コンピュータのソフトウェア上からコントロールすることができます。
- ・ 調整値をファイルとして保存し、他のコンピュータで読み込むことができます。
- ・ カラー調整データをG-Ignition Driveにアップロードし、他のユーザーと共有したり、他のユーザーがG-Ignition Driveにアップしたデータをダウンロードすることができます。
- ・ Twitterとの連動で、他のユーザーと情報交換することができます。
- ・ 同一機種マルチモニター環境であれば、一括してカラー調整をおこなうことができます。
- ・ アプリケーションごとに、自動的にモニターのカラーモードを切り替えることができます。
- ・ モニターの電源オン/オフ、カラーモードの切り替えなどを、キーボードから操作できます。

動作環境

OS	Microsoft Windows 10 / 8.1 / 7
コンピュータ	USBポート標準搭載
ビデオカード	OpenGL 3.0以上の動作条件を満たすこと

一部の機能には、インターネット環境が必要です。

詳細は、G-Ignitionの取扱説明書を参照してください。

● G-Ignition Mobile

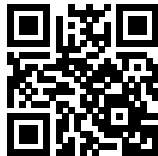
スマートフォン（AndroidまたはiOS）から、モニターの調整/設定ができるソフトウェアです。ソフトウェアは、Android搭載端末はGoogle Play、iOS搭載端末はApp Storeから無料でダウンロードできます。

特長

- モニターのカラー調整機能を、スマートフォンのソフトウェア上からコントロールすることができます。リモコンを操作するように、スマートフォンを使用してモニターの電源のオン/オフや入力切替をおこなえます。
- 調整値をファイルとして保存し、他のコンピュータで読み込むことができます。
- カラー調整データをG-Ignition Driveにアップロードし、他のユーザーと共有したり、他のユーザーがG-Ignition Driveにアップしたデータをダウンロードすることができます。
- スマートフォンへの各種通知をモニターに転送し、アイコン表示することができます。ゲーム中でも大切な着信やメール受信などを見落としません。

動作環境

最新の動作環境については当社のWebサイトを参照してください。
<http://gaming.eizo.com>



1-4. 基本操作と機能一覧

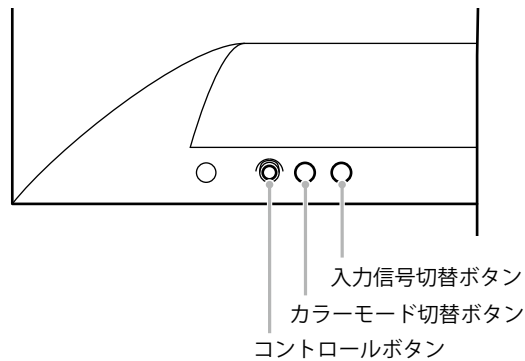
● 設定メニューの基本操作方法

ここでは、基本設定メニューの操作方法を説明します。

管理者向け設定メニューの操作方は、「[管理者向け設定メニューの基本操作方法](#)」(P.40)を参照してください。

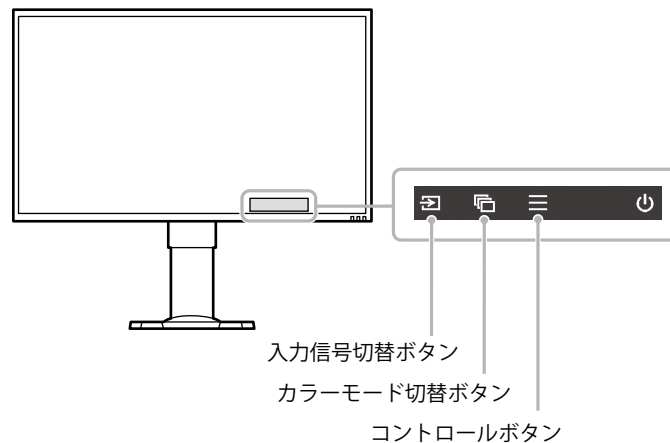
1. 操作ガイドの表示

1. 本体の背面にある入力信号切替ボタン、カラーモード切替ボタン、またはコントロールボタンのいずれかを押します。



画面に操作ガイドが表示されます。

操作ガイドは、本体背面のボタンと次の図のように対応しています。



参考

- 操作ガイドを表示した状態でコントロールボタンの上下操作、または左右操作をおこなうと、次の項目をすぐに調整/設定できます。
 - 左右操作
 ブライツネス (P.27)
 - 上下操作 (P.37)
 音量

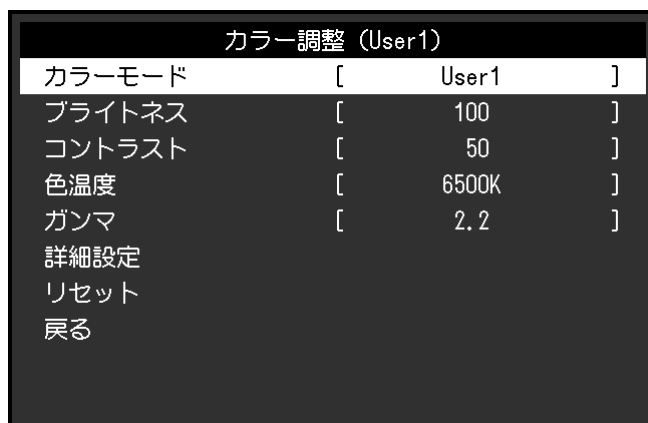
2. 設定メニューの表示

1. コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。



3. 調整/設定

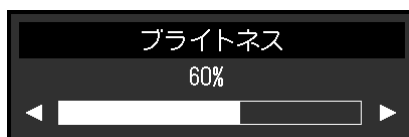
1. コントロールボタンの上下操作で、調整/設定したいメニューを選択し、コントロールボタンを押します。
サブメニューが表示されます。



参考

- ・コントロールボタンを右に操作しても選択できます。

2. コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、コントロールボタンを押すか、コントロールボタンを右に操作して確定します。
調整/設定メニューが表示されます。



3. コントロールボタンで調整/設定し、コントロールボタンを押して確定します。
サブメニューに戻ります。
4. コントロールボタンで「戻る」を選択し、コントロールボタンを押すか、コントロールボタンを右に操作して確定します。
設定メニューに戻ります。

参考

- ・コントロールボタンを左に操作しても、設定メニューに戻ります。

4. 終了

1. コントロールボタンで「メニューオフ」を選択し、コントロールボタンを押して確定します。

参考

・コントロールボタンを左に操作しても、設定メニューを終了します。

● 機能一覧

設定メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー	参照先	
カラー調整 ^{※1}	カラーモード	「第4章 カラーを調整する」 (P.25)	
	ブライトネス		
	コントラスト		
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定		色合い
			色の濃さ
			ゲイン
			黒レベル
			ブラーリダクション
コントラスト拡張			
リセット			
Smart機能 ^{※1}	Smart Resolution	「第6章 Smart機能を使用する」 (P.42)	
	Smart Insight		
	彩度拡張		
Smart Insightデモ	—	「6-4. 設定状態を確認する」 (P.44)	
信号設定	画面拡大	「3-2. 画面サイズを切り替える」 (P.23)	
	カラーフォーマット ^{※2}	「4-15. カラーフォーマットを設定する」 (P.33)	
	入力レンジ	「4-16. 表示階調を設定する」 (P.34)	
	フィルム検出 ^{※2}	「4-17. インターレース信号の表示方法を選択する」 (P.34)	
サウンド設定	アナログ音声入力 ^{※3}	「5-4. 音源を切り替える」 (P.36)	
	音声レベル	「5-6. 音声のレベルを調整する」 (P.37)	
Bluetooth設定	Bluetooth機能	「2-1. スマートフォンとBluetoothで接続する」 (P.16)	
	ペアリング		
本体設定	入力自動検出	「5-1. 入力信号を自動的に判別する」 (P.35)	
	メニュー回転	「3-3. 設定メニューの向きを変更する」 (P.24)	
	パワーセーブ	「7-1. パワーセーブを設定する」 (P.45)	
	ランプ輝度	「5-7. 表示ランプの明るさを設定する」 (P.38)	
	EcoView設定	「7-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」 (P.46)	
	入力スキップ	「5-2. 特定の入力信号を選択の対象外にする」 (P.35)	
	モードスキップ	「5-3. 特定のカラーモードを選択の対象外にする」 (P.36)	
	オールリセット	「5-9. 初期設定に戻す」 (P.39)	
言語選択	—	「5-8. 表示言語を設定する」 (P.38)	

メインメニュー	サブメニュー	参照先
インフォメーション	—	「5-10. モニター情報を確認する」 (P.39)

管理者向け設定

メニュー	参照先
起動ロゴ	「5-11. 管理者向け設定をおこなう」 (P.40)
操作ロック	
信号フォーマット	
互換性モード	

※1 「カラー調整」および「Smart機能」で調整/設定できる機能はモードにより異なります（「各モードの調整項目」 (P.26) 参照）。

※2 HDMI信号入力の場合に設定できます。

※3 DisplayPort信号入力、HDMI信号入力の場合に設定できます。

第2章 接続する

2-1. スマートフォンとBluetoothで接続する

この製品をG-Ignition Mobileから操作するには、この製品をスマートフォンとBluetoothで接続（ペアリング）する必要があります。

ここでは、スマートフォンとこの製品をBluetoothでペアリングする方法を説明します。

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

注意点

- ・この製品とペアリングできるスマートフォンは1台のみです。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2. 「Bluetooth」－「Bluetooth機能」の順に選択します。

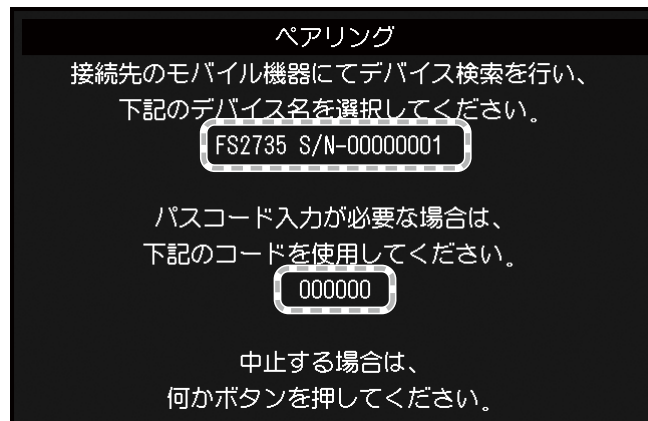
3. 「オン」を選択し、確定します。

「Bluetooth」サブメニューに戻ります。

4. 「ペアリング」を選択します。

5. 「OK」を選択し、確定します。

この製品のデバイス名、パスコードの情報が表示されます。



参考

- ・いずれかの操作ボタン、またはコントロールボタンを押すと、ペアリングを中止します。

6. スマートフォンのBluetooth設定画面で、この製品のデバイス名を選択します。

7. 必要に応じて、パスコード（パスワード）を入力します。

メッセージが表示され、通知ランプが白色に点灯します（「1-2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）。

● 接続情報を確認する

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2. 「Bluetooth」を選択し、確定します。

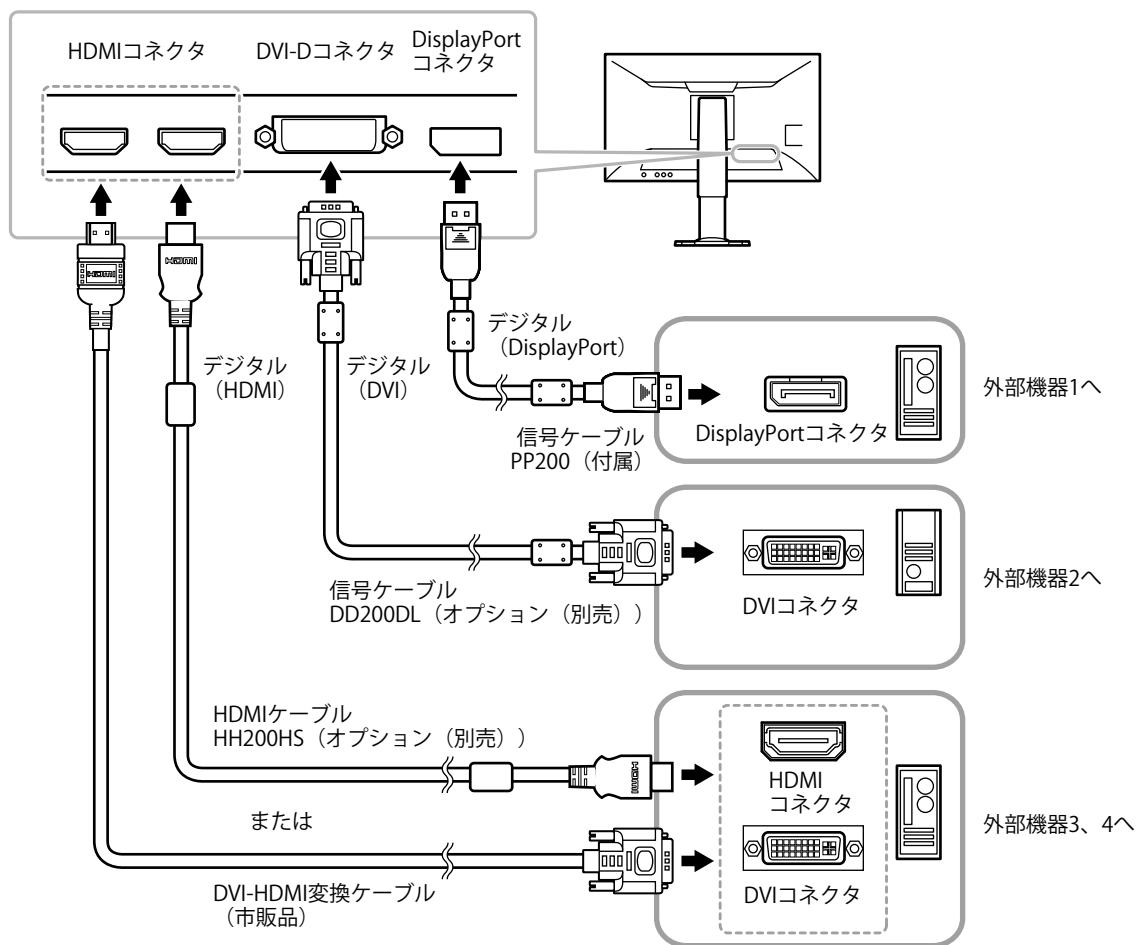
「Bluetooth」サブメニューの下部に、接続情報が表示されます。




2-2. 複数の外部機器を接続する

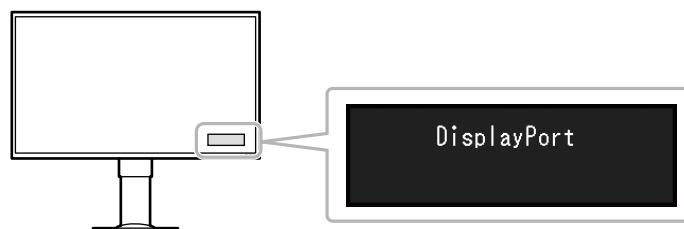
この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

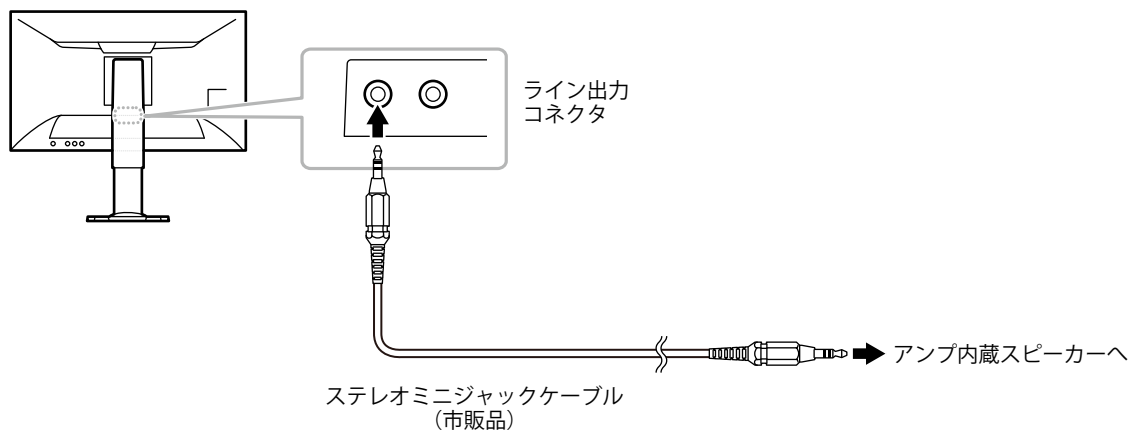
操作ガイドを表示した状態で、入力信号切替ボタン () を押すと、入力信号が切り替わります。画面右下に選択された入力ポート名が表示されます。



2-3. 外部スピーカーを接続する

この製品にアンプ内蔵のスピーカーを接続して、コンピュータやゲームなどの外部機器からの音声を出力することができます。

接続例



注意点

- 音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターの本体操作ボタンでは操作できません。
- ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続すると、モニター本体のスピーカーから音声が出なくなります。
- アンプ内蔵スピーカーを接続した状態で、モニターにヘッドホンを接続すると、アンプ内蔵スピーカーから音声がなくなります。

2-4. USB (Universal Serial Bus) の活用について

この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

参考

- この製品はUSB 3.0に対応しています。USB 3.0に対応した周辺機器を接続すると、高速のデータ通信が可能になります。

● 必要なシステム環境

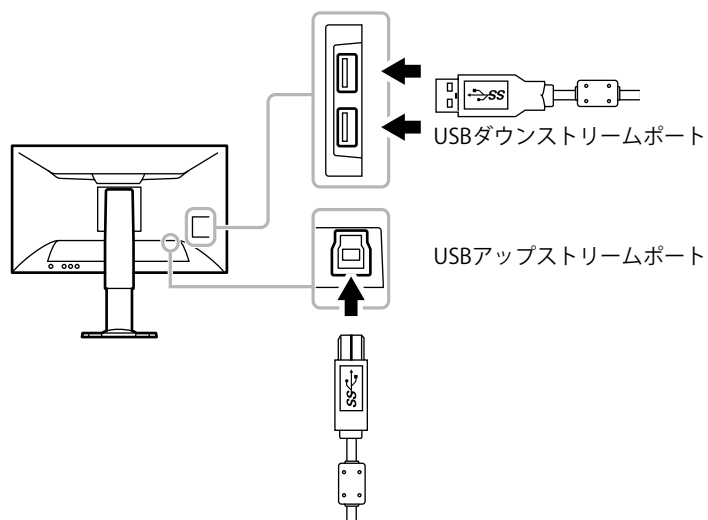
- USB Specification Revision 3.0に準拠したコンピュータ（USBホスト機能を持つ機器を含む）およびOS
- EIZO USBケーブル（UU200SS (USB 3.0)）

注意点

- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。
- モニターの主電源スイッチがオンの場合でも、コンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートがUSBケーブルで接続されていない場合は、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。電源供給もされません。

● 接続方法 (USB機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、モニターとコンピュータを起動しておきます。
2. USB対応のコンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。
USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



第3章 画面を設定する

3-1. 対応解像度/対応フォーマット

この製品は次の解像度/フォーマットに対応しています。

● DisplayPort信号入力時

「信号フォーマット」(P.41)の設定により対応解像度が異なります。

解像度	垂直走査周波数	FreeSync (高)	FreeSync (低)	DisplayPort Ver.1.2	DisplayPort Ver.1.1
640 x 480	60Hz / 75Hz	○	○	○	○
640 x 480	100Hz / 120Hz	-	-	○	○
720 x 400	70Hz	○	○	○	○
720 x 480	60Hz	○	○	○	○
720 x 576	50Hz	-	○	○	○
800 x 600	60Hz / 75Hz	○	○	○	○
800 x 600	100Hz / 120Hz	-	-	○	○
1024 x 768	60Hz / 75Hz	○	○	○	○
1024 x 768	120Hz	-	-	○	○
1280 x 720	50Hz	-	○	○	○
1280 x 720	60Hz	○	○	○	○
1280 x 1024	75Hz	○	○	○	○
1280 x 1024	60Hz / 120Hz	-	-	○	○
1680 x 1050	60Hz	-	-	○	○
1920 x 1080	50Hz	-	○	○	○
1920 x 1080	90Hz	-	○	-	-
1920 x 1080	60Hz / 120Hz / 144Hz	○	○	○	○
2560 x 1440 ^{※1}	60Hz	○	○	○	○
2560 x 1440 ^{※1}	90Hz	-	○	-	-
2560 x 1440 ^{※1}	100Hz	○	-	○	-
2560 x 1440 ^{※1}	120Hz / 144Hz	○	○	○	-

※1 推奨解像度です。

● HDMI (PC信号)、DVI-D信号入力時

解像度	垂直走査周波数	HDMI	DVI-D
640 x 480	60Hz / 75Hz / 120Hz	○	○
640 x 480	100Hz	○	-
720 x 400	70Hz	○	○
720 x 480	60Hz	○	-
800 x 600	60Hz / 75Hz / 120Hz	○	○
800 x 600	100Hz	○	-
1024 x 768	60Hz / 75Hz / 120Hz / 144Hz	○	○
1280 x 720	60Hz	○	○
1280 x 1024	60Hz / 75Hz / 120Hz / 144Hz	○	○
1680 x 1050	60Hz	○	○
1920 x 1080	100Hz	○	-
1920 x 1080	60Hz / 120Hz	○	○
1920 x 1080	144Hz	-	○
2560 x 1440 ^{※1}	60Hz	○	○

※1 推奨解像度です。

● HDMI（ビデオ信号）入力時

フォーマット	解像度	スキャン方式	垂直走査周波数		
			24 Hz	50 Hz	60 Hz
VGA	640 x 480	プログレッシブ	—	—	○
480p	720 x 480	プログレッシブ	—	—	○
480i	720 x 480	インターレース	—	—	○
576p	720 x 576	プログレッシブ	—	○	—
576i	720 x 576	インターレース	—	○	—
720p	1280 x 720	プログレッシブ	—	○	○
1080p	1920 x 1080	プログレッシブ	○	○	○
1080i	1920 x 1080	インターレース	—	○	○

● 音声信号

2chリニアPCM（32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2kHz / 96kHz）

注意点

- DVI信号入力時は対応していません。

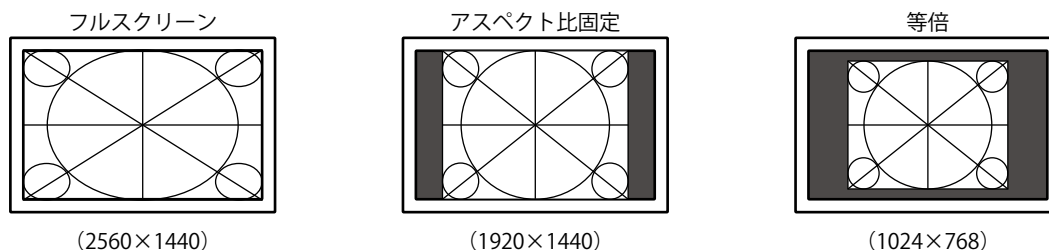
3-2. 画面サイズを切り替える

● DisplayPort信号入力時、DVI-D信号入力時、HDMI（PC信号）入力時

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面拡大」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
アスペクト比固定	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
等倍	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1024×768を表示した場合



設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

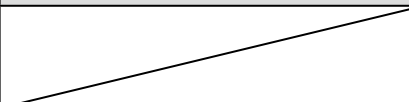
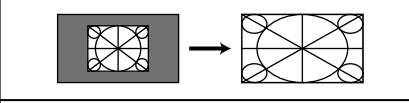
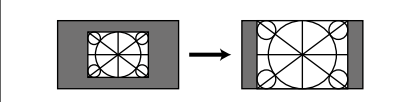
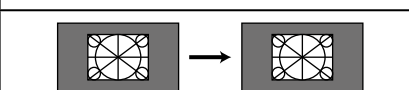
1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「信号設定」－「画面拡大」の順に選択します。
3. 「画面拡大」メニューで、設定を選択し、確定します。

参考

- ・「等倍」選択時は、最大2フレームの表示遅延が発生する場合があります。
- ・FreeSync（P.41）動作中は、設定にかかわらずフルスクリーン表示になります。

● HDMI（ビデオ信号）入力時

「画面拡大」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能	画面の見え方
自動	外部機器から送信されてくるアスペクト比情報※1と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。HDMI入力時にのみ設定できます。	
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。	
アスペクト比固定	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。	
等倍	入力信号のままの大きさとで画像が表示されます。	

※1 レターボックスのアスペクト比情報は自動的に判別することができません。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「信号設定」－「画面拡大」の順に選択します。
3. 設定値を選択し、確定します。

参考

- ・「等倍」選択時は、最大2フレームの表示遅延が発生する場合があります。

3-3. 設定メニューの向きを変更する

モニターを縦表示にした場合は、設定メニューの向きも変更することができます。

設定範囲

0°、90°、270°

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「本体設定」－「メニュー回転」の順に選択します。
3. 設定を選択し、確定します。

注意点

- ・モニターの画面を回転する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて、上向き（チルト）にしてから回転してください。
- ・モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（<http://www.eizo.co.jp>）。

第4章 カラーを調整する


4-1. 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

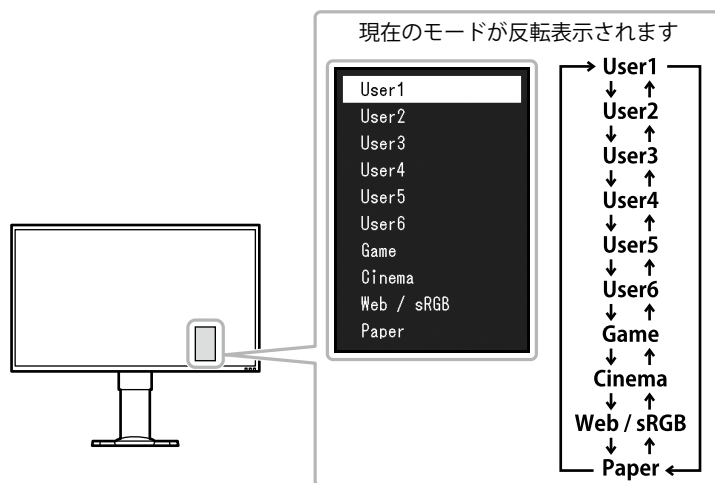
モードの選択


モード	目的
User1 User2 User3 User4 User5 User6	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
Game	鮮やかでクリアな画面表示になります。ゲームに適しています。
Cinema	映画館のスクリーン映像のような見え方になります。映画などの映像表示に適しています。
Web / sRGB	Webブラウザの表示やsRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。

設定方法

1. 操作ガイドを表示した状態で、カラーモード切替ボタン（）を押します（「1-2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）。

モードメニューが画面に表示されます。



2. カラーモード切替ボタン（）を押すたびにモードが切り替わります。

モードメニュー表示中は、コントロールボタンでモードを切り替えることもできます。



参考

- ・設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- ・G-Ignitionを使用すると、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります。
- ・特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「5-3. 特定のカラーモードを選択の対象外にする」（P.36）を参照してください。

4-2. 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・G-Ignition、G-Ignition Mobile (P.10) を使用すると、カラー調整をより便利におこなうことができます。G-Ignitionでは、マウスとキーボードの操作でカラー調整ができます。G-Ignition Mobileでは、スマートフォンの操作でカラー調整ができます。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）

各機能の設定方法については、次ページ以降を参照してください。

○：調整可 —：調整不可

機能名	カラーモード					
	User1 ~User6	Game	Cinema	Web / sRGB	Paper	
ブライツネス	○	○	○	○	○	
コントラスト	○	○	○	—	—	
色温度	○	○	○	—	○	
ガンマ	○	○	○	—	—	
詳細設定	色合い	○	○	○	—	—
	色の濃さ	○	○	○	—	—
	ゲイン	○	—	—	—	—
	黒レベル	○	○	○	—	—
	ブラーリダクション	○	○	○	—	—
	コントラスト拡張	○	○	○	—	—
オーバードライブ	○	○	○	—	—	
リセット	○	○	○	○	○	

4-3. ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「ブライトネス」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

参考

- 操作ガイドを表示した状態でコントロールボタンの左操作、または右操作をおこなうと、ブライトネスをすぐに調整/設定できます。
- ブライトネスが100でも暗いと感じた場合は、コントラスト調整をおこなってください。
- G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-4. コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「コントラスト」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

参考

- 50ですべての色階調を表示します（PC信号入力のみ）。
- 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
 - ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50以上に設定します。）
- G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-5. 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、4000K～10000K（100K単位）

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「色温度」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

参考

- ・「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ・「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「4-9. ゲインを調整する」（P.30）参照）。
- ・「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
- ・G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-6. ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定	機能
1.6～2.8（0.1単位）	数値が高いほどコントラストが強くなります。
FPS	FPSゲームの表示に適した設定で、画面の低階調部をRTSよりも明るく表示します。
RTS	RTSゲームの表示に適した設定で、画面の低階調部を明るくします。
Power	中間階調のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	紙に印刷したような見え方になります。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「ガンマ」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

参考

- ・G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-7. 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「色合い」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。
-

4-8. 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「色の濃さ」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・最小値（-100）で白黒の画面となります。
 - ・G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。
-

4-9. ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0～100

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「ゲイン」の順に選択します。
3. Red、Green、Blueそれぞれの値を設定し、確定します。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
- G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-10. 黒の明るさを調整する

黒レベルを調整することにより、黒の明るさを調整します。黒いテストパターンまたは背景を表示して黒レベルを調整してください。

設定範囲

0～100

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「黒レベル」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

参考

- 黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。
- G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-11.動画のボケを軽減する

動画を表示しているときに生じる画像のぼやけ（動画ボケ）を軽減できます。

動画ボケは、画面（フレーム）を切り替えるときの液晶の変化が目映ることによって生じます。

「ブラーリダクション」を「オン」にすると、液晶の動きに合わせてバックライトが点滅し、液晶の変化を見せないようにするため、ボケの少ないくっきりとした画像を見ることができます。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「ブラーリダクション」の順に選択します。
3. 「オン」を選択し、確定します。

注意点

- ・ モニターがFreeSync対応可能な状態になると、ブラーリダクションは自動的に「オフ」になります。
「ブラーリダクション」を確実に機能させるためには「信号フォーマットを切り替える」（P.41）で「DisplayPort Ver.1.2」または「DisplayPort Ver.1.1」を選択してください。

参考

- ・ G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-12.コントラスト拡張の強調度合いを設定する

画像の明暗やシーンの変化に応じて、コントラストを自動的に調整することができます。その調整の強さを設定します。

設定範囲

強、普通、オフ

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「コントラスト拡張」の順に選択します。
3. 設定値を選択し、確定します。

注意点

- ・ この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・ G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

4-13. オーバードライブの強さを設定する

モニターの用途に応じて、オーバードライブの強さを設定することができます。例えば、動きの速いゲーム画像などを表示する場合、「強」にすると残像感を低減できます。

設定範囲

強、普通、オフ

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「詳細設定」－「オーバードライブ」の順に選択します。
3. 設定値を選択し、確定します。

参考

- G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。
-

4-14. カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値および「第6章 Smart機能を使用する」（P.42）の設定値を初期設定に戻します。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「カラー調整」－「リセット」の順に選択します。
3. 「OK」を選択し、確定します。

4-15. カラーフォーマットを設定する

DisplayPort信号入力時、HDMI信号入力時のカラーフォーマットを指定できます。正しい色が表示できない場合に「自動」以外に設定します。

DisplayPort信号入力時

設定	機能
自動	入力信号のカラーフォーマットを自動的に判別します（推奨）。
YUV	入力信号のカラーフォーマットを、YUVとして扱います。
RGB	入力信号のカラーフォーマットを、RGBとして扱います。

HDMI信号入力時

○：設定可 ー：設定不可

設定	機能	PC信号	ビデオ信号
自動	入力信号のカラーフォーマットを自動的に判別します（推奨）。	ー	○
YUV 4:2:2	入力信号のカラーフォーマットを、YUV 4:2:2として扱います。	○	○
YUV 4:4:4	入力信号のカラーフォーマットを、YUV 4:4:4として扱います。	○	○
RGB	入力信号のカラーフォーマットを、RGBとして扱います。	○	○

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「[設定メニューの基本操作方法](#)」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「信号設定」－「カラーフォーマット」の順に選択します。
3. 設定値を選択し、確定します。

注意点

- 以下の場合、設定が必要です。
 - DVI-HDMI変換コネクタを使用してDVI機器をモニターのHDMIコネクタに接続している場合
- 「自動」に設定した場合でも、正しく表示できない場合があります。その場合は、正しく画面が表示される設定に変更してください。

4-16.表示階調を設定する

画面表示の階調を指定できます。

設定	機能
自動	入力された信号に応じて、表示階調を自動的に切り替えます。
フル	入力された階調をそのまま表示します。
リミテッド	入力された階調を255階調で表示します。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「信号設定」－「入力レンジ」の順に選択します。
3. 設定値を選択し、確定します。

注意点

- ・ DVI信号入力時は「自動」を選択できません。

4-17.インターレース信号の表示方法を選択する

HDMI信号入力時、インターレース信号を表示する際に、表示方法を選択できます。映画、CG、アニメーションなどの、毎秒24コマあるいは毎秒30コマの信号を自動的に判別して最適な画像を表示します。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「信号設定」－「フィルム検出」の順に選択します。
3. 「オン」を選択し、確定します。

第5章 モニターを設定する

5-1. 入力信号を自動的に判別する

入力信号をモニターが自動的に判別するように設定します。

HDMI 1→HDMI 2→DisplayPort→DVIの順に入力信号を切り替え、信号を検知した時点で、その信号を画面に表示します。

設定	機能
オン	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。外部機器が省電力モードに入ると、自動的に他の信号を表示します。
オフ	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、コントロールボタンで、表示する入力信号を選択してください。

参考

- ・主電源を切/入したときは、この機能の設定に関係なく、信号が自動的に検出されます。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「本体設定」－「入力自動検出」の順に選択します。
3. 「オン」を選択し、確定します。

5-2. 特定の入力信号を選択の対象外にする

特定の入力信号を「スキップ」に設定すると、入力信号を切り替える際に、その入力信号を対象外とすることができます。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「本体設定」－「入力スキップ」の順に選択します。
3. 入力信号ごとに「-」または「スキップ」を選択し、確定します。

注意点

- ・すべての入力信号を「スキップ」にすることはできません。

5-3. 特定のカラーモードを選択の対象外にする

特定のカラーモードを「スキップ」に設定すると、カラーモードを切り替える際に、そのカラーモードを対象外とすることができます。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「本体設定」－「モードスキップ」の順に選択します。
3. カラーモードごとに「-」または「スキップ」を選択し、確定します。

注意点

- ・すべてのカラーモードを「スキップ」にすることはできません。

5-4. 音源を切り替える

DisplayPort信号入力時、またはHDMI信号入力時の音源を、ライン入力コネクタ（ステレオミニジャック）に切り替えることができます。

設定	機能
オン	ライン入力コネクタ（ステレオミニジャック）を音源とします。
オフ	DisplayPort信号またはHDMI信号を音源とします。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「サウンド設定」－「アナログ音声入力」の順に選択します。
3. 「オン」または「オフ」を選択し、確定します。

5-5. 音量を調整する

スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。

設定範囲

0～30

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを上、または下へ操作します。
音量調整メニューが表示されます。
2. 数値を設定し、確定します。

参考

- 音量は、DisplayPort入力、HDMI入力、ステレオミニジャックで共通の設定となります。
- 設定メニューの「サウンド設定」－「音量」でも調整できます。

注意点

- ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカー（外部スピーカー）を接続している場合、この製品は音声を加工せずにそのまま外部スピーカーに出力します。音量は外部スピーカー側で操作してください。本体の操作ボタンでは操作できません。
- 次の条件が重なると、音量を調整しようとしたときに「現在の操作はできません。」と表示されます。
 - ヘッドホンを接続していない
 - ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している

5-6. 音声のレベルを調整する

入力する音声のレベルを調整します。

外部機器の平均的な音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。レベルを調整することで、音量差を軽減することができます。例えば、HDMI 1とHDMI 2で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの「音声レベル」の設定を上げると、音量差を軽減できます。

設定範囲

-1～1

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「サウンド設定」－「音声レベル」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

注意点

- この機能は、モニター本体のスピーカーおよびヘッドホンへの音声に対して働きます。

5-7. 表示ランプの明るさを設定する

本体前面の表示ランプ（電源ランプ、通知ランプ）の明るさを調整します。

設定範囲

オフ、1～7

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「本体設定」－「ランプ輝度」の順に選択します。
3. 数値を設定し、確定します。

参考

- ・設定は、電源ランプと通知ランプの両方に適用されます。
-

5-8. 表示言語を設定する

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

設定範囲

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「言語設定」を選択します。
3. 言語を選択し、確定します。

5-9. 初期設定に戻す

すべての設定内容を初期設定に戻します。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「[主な初期設定値](#)」(P.57)を参照してください。
- カラー調整値のみをリセットしたい場合は、「[4-14. カラー調整値をリセットする](#)」(P.32)を参照してください。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「[設定メニューの基本操作方法](#)」(P.12)参照）。

- 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
- 「本体設定」－「オールリセット」の順に選択します。
- 「OK」を選択し、確定します。

5-10. モニター情報を確認する

製品名、製造番号、バージョン、使用時間、解像度、入力信号を表示します。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「[設定メニューの基本操作方法](#)」(P.12)参照）。

- 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
- 「インフォメーション」を選択します。

注意点

- 工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

5-11. 管理者向け設定をおこなう

● 管理者向け設定メニューの基本操作方法

管理者設定をおこなう際は、次のように操作します。

操作方法

1. 電源ボタンを押して、モニターの電源を切ります。
2. コントロールボタンを上へ操作しながら、電源ボタンを2秒以上押します。
管理者設定メニューが表示されます。このとき、入力信号の画面表示はされません。
3. コントロールボタンで、項目を選択します。
4. コントロールボタンで設定し、確定します。
管理者設定メニューに戻ります。
5. コントロールボタンで「完了」を選択し、確定します。
管理者設定メニューが消え、画面が通常画面に切り替わります。

● EIZOロゴを表示/非表示にする

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

設定方法

管理者設定メニューの基本操作については、「[管理者向け設定メニューの基本操作方法](#)」(P.40)を参照してください。

1. 管理者設定メニューで、「起動ロゴ」を選択します。
2. 「オン」または「オフ」を選択し、確定します。

● 操作ボタンをロックする

本体操作ボタンでの操作をロックします。

設定	機能
オフ	すべてのボタンを操作できます。
メニュー	コントロールボタンによる設定メニューの操作をロックします。 入力信号切替ボタン、カラーモード切替ボタン、電源ボタンは操作できます。
オール	電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。 電源ボタンによる電源オン/オフは操作ができます。

設定方法

管理者設定メニューの基本操作については、「[管理者向け設定メニューの基本操作方法](#)」(P.40)を参照してください。

1. 管理者設定メニューで、「操作ロック」を選択します。
2. 設定値を選択し、確定します。

参考

- ・ロックした状態でも、G-Ignition、G-Ignition Mobileによる操作は可能です。

● 信号フォーマットを切り替える

DisplayPort信号入力時のモニターの対応解像度、垂直走査周波数、およびDisplayPortのバージョンを設定します。次のような場合にお使いください。

- FreeSyncが動作する垂直走査周波数範囲を変更したい
- FreeSyncをオフにしたい

設定値

設定	機能
FreeSync (高)	モニターがFreeSync対応の状態になります。 垂直走査周波数範囲は 56 Hz ~ 144 Hzです。
FreeSync (低)	モニターがFreeSync対応の状態になります。 垂直走査周波数範囲は 35 Hz ~ 90 Hzです。
DisplayPort Ver.1.2	モニターがFreeSync非対応の状態になります。 DisplayPort のバージョンが1.2になります。 FreeSyncを利用しない場合に選択します。
DisplayPort Ver.1.1	モニターがFreeSync非対応の状態になります。 DisplayPort のバージョンが1.1になります。 FreeSyncを利用しない場合に、「DisplayPort Ver.1.2」を選択すると画面が表示されないときに選択します。

FreeSyncについて

AMD FreeSyncテクノロジーを使用すると、ゲーム画面などの表示で、不自然な動きや不完全な画面の更新を防ぎ、滑らかな映像を表示できます。

注意点

- この機能は、DisplayPort信号入力時のみ動作します。
- FreeSyncに対応しているグラフィックスボードが必要です。また、グラフィックスボードのFreeSyncを有効にする必要があります。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

参考

- モニターがFreeSync対応可能な状態になると、モニターは次のような状態になります。
 - モニターの電源ランプが赤色になります。
 - 「3-2. 画面サイズを切り替える」 (P.23) の設定が自動的に「フルスクリーン」になります。
 - ブラーリダクション (P.31) が自動的にオフになります。
- 各設定で対応する解像度、垂直走査周波数の詳細は、「3-1. 対応解像度/対応フォーマット」 (P.21) を参照してください。

設定方法

管理者設定メニューの基本操作については、「管理者向け設定メニューの基本操作方法」 (P.40) を参照してください。

1. 管理者設定メニューで、「信号フォーマット」を選択します。
2. 設定値を選択し、確定します。

● 互換性モードを使う

電源のオフ/オン時、および省電力モードからの復帰時に、画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、この機能を「オン」に設定してください。

設定方法

管理者設定メニューの基本操作については、「管理者向け設定メニューの基本操作方法」 (P.40) を参照してください。

1. 管理者設定メニューで、「互換性モード」を選択します。
2. 「オン」を選択し、確定します。

第6章 Smart機能を使用する

6-1. 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）
各機能の設定方法については、次ページ以降を参照してください。

○：調整可 —：調整不可

機能名		カラーモード				
		User1～User6	Game	Cinema	Web / sRGB	Paper
Smart機能	Smart Resolution	○	○	○	—	○
	Smart Insight	○	○	○	—	—

6-2. 解像感の自動補正を設定する

「Smart Resolution」機能を使用して、画像の解像感を調整します。ぼやけを改善し、鮮やかでクリアな表示にすることができます。

設定範囲

1～5、オフ

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「[設定メニューの基本操作方法](#)」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「Smart機能」－「Smart Resolution」の順に選択します。
3. 設定値を選択し、確定します。

参考

- G-Ignition、G-Ignition Mobileを使用して設定することもできます。

6-3. 明るさの自動補正を設定する

「Smart Insight Demolition」機能を使用して、画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗く見えにくい部分、明るすぎて見えにくい部分を見やすくすることができます。

また、「彩度拡張」によって、画素ごとの彩度を補正することもできます。

色が淡く見えにくい部分を見やすくすることができます。

注意点

- 「Smart Insight Demolition」は表示されるシーンに応じて明るさを補正しています。そのため、シーンの切り替わり時などに、ゆっくりと明るさが変化する場合があります。
- 「Smart Insight」を「オフ」にすると、「彩度拡張」は設定できません。

設定範囲

- Smart Insight Demolition
1～5、オフ
- 彩度拡張
1～10、オフ

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「[設定メニューの基本操作方法](#)」（P.12）参照）。

設定方法

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「Smart機能」－「Smart Insight」の順に選択します。
3. 「Smart Insight」メニューで、設定を選択します。
4. 設定を完了する場合は、コントロールボタンを押して確定します。
引き続き、「彩度拡張」を設定する場合は、手順5に進んでください。
5. 「Smart機能」サブメニューで「彩度拡張」を選択します。
6. 設定値を選択し、確定します。

6-4. 設定状態を確認する

「Smart 機能」メニューの設定状態をデモ画面で確認することができます。

デモ画面への切替方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「Smart Insightデモ」を選択します。
3. 「Smart Insightデモ」メニューで、「オン」を選択し、確定します。
-画面右半分：「Smart 機能」メニューの設定が適用されている状態
-画面左半分：「Smart 機能」メニューの設定が適用されていない状態

注意点

- ・「Smart Insightデモ」が「オン」の場合は、「Smart機能」以外の設定はできません。

参考

- ・デモ表示中にも、「Smart機能」メニューを表示し、それぞれの設定を変更することができます。
 - ・デモ画面から通常表示に戻すには、「Smart機能」－「Smart Insightデモ」メニューで、「オフ」を選択します。
-

第7章 省電力機能について

7-1. パワーセーブを設定する

● モニター

外部機器の状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- ・ 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ・ ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

参考

- ・ 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「設定メニューの基本操作方法」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
2. 「本体設定」－「パワーセーブ」の順に選択します。
3. 「オン」または「オフ」を選択し、確定します。

省電力の流れ

外部機器がコンピュータの場合

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	白または赤
省電力モード	省電力モード	橙
電源オフ	省電力モード	橙

外部機器がコンピュータ以外の場合

外部機器の状態	モニターの状態	電源ランプ
電源オン	オペレーションモード	白
電源オフ	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

7-2. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用すると、モニター下部のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。
-

設定方法

操作はすべて、コントロールボタンでおこないます（「[設定メニューの基本操作方法](#)」（P.12）参照）。

1. 操作ガイドを表示した状態で、コントロールボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
 2. 「本体設定」－「EcoView設定」－「Auto EcoView」の順に選択します。
 3. 「標準」/「強」/「オフ」のいずれかを選択し、確定します。
-


参考

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、設定メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。
 - 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。
-

第8章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。当社のWebサイトもあわせて参照してください。<http://jp.gaming.eizo.com>

8-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">電源コードは正しく接続されていますか。主電源を入れてください。主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。⏻を押してみてください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：白色または赤色	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「4-2. 詳細な調整をする」(P.26) 参照）。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none">信号ケーブルは正しく接続されていますか。外部機器の電源は入っていますか。マウス、キーボードを操作してみてください。入力信号切替ボタンを押して、入力信号を切り替えてみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
例： 	<ul style="list-style-type: none">入力されている信号が仕様範囲外であることを示す表示です。DisplayPort、DVI-D、HDMI (PC信号) 入力時は、次の対処方法も確認してみてください。<ul style="list-style-type: none">- コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「3-1. 対応解像度/対応フォーマット」(P.21) 参照）。- コンピュータを再起動してみてください。- グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

8-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください（「4-2. 詳細な調整をする」(P.26) 参照）。（液晶モニターのパックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにしてみてください（「7-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」(P.46) 参照）。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
2. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度になっていませんか（「3-1. 対応解像度/対応フォーマット」(P.21) 参照）。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください（「4-13. オーバードライブの強さを設定する」(P.32) 参照）。 HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. 画面が白っぽい、黒っぽい	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「黒レベル」（「4-10. 黒の明るさを調整する」(P.30) 参照）、「コントラスト」（「4-4. コントラストを調整する」(P.27) 参照）で調整してみてください。
8. 画面の色がおかしい（DisplayPort入力時、HDMI入力時）	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「信号設定」-「カラーフォーマット」で映像信号のフォーマットを変更してみてください（「4-15. カラーフォーマットを設定する」(P.33) 参照）。
9. 画面が点滅する（HDMI入力時）	<ul style="list-style-type: none"> HDMIケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルがHigh Speedに対応しているか確認してください。
10. 画面が白っぽい、黒っぽい（DisplayPort入力時、HDMI入力時）	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「信号設定」-「入力レンジ」で調整してみてください（「4-16. 表示階調を設定する」(P.34) 参照）。

8-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ボタンをロックする」(P.40) 参照）。
2. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 DisplayPort入力時、HDMI入力時は外部機器および設定メニューの「アナログ音声入力」の設定を確認してみてください（「5-4. 音源を切り替える」(P.36) 参照）。 モニター本体のスピーカーの場合 <ul style="list-style-type: none"> ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続していませんか。 音量が「0」になっていませんか。 ヘッドホンの場合 <ul style="list-style-type: none"> 音量が「0」になっていませんか。 ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの場合 <ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンを接続していませんか。
3. ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの音量が調整できない	<ul style="list-style-type: none"> この製品のライン出力は、音声を加工せずに出力するため、この製品の操作では外部スピーカーの音量を調整できません。音量は外部スピーカー側で調整してください。
4. 「現在この操作はできません。」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している状態で、音量を調整しようとしたときに表示されます。音量は、外部スピーカー側で調整ください。
5. モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルは正しく接続されていますか（「2-4. USB (Universal Serial Bus) の活用について」(P.19) 参照）。 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZOサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 コンピュータを再起動してみてください。 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。 ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

第9章 部品の取付方法/取外方法

9-1. オプションアーム

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることができます。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。 <http://www.eizo.co.jp>

注意点

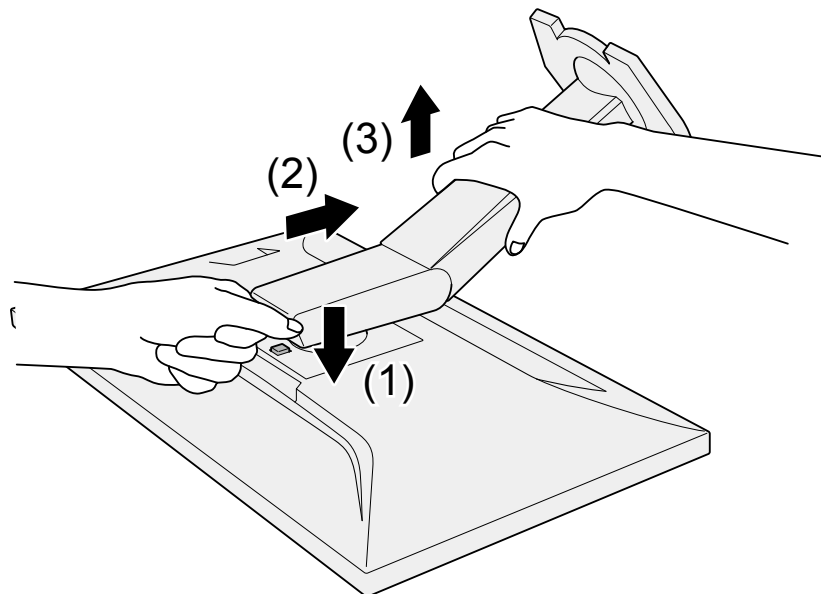
- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。取り付けにはこの製品に付属のVESAマウント取付用ねじをご使用ください。
 - 取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
 - アームまたはスタンドのVESAマウント部外形寸法：122mm×122mm以下
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上45° 下45°（横表示時、および時計回り/反時計回り90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

● オプションアーム（オプションスタンド）の取付方法

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

図のように、ロックボタンを押しながら（1）、スタンドを、カタッと当たるまでスタンドベース側にスライドします（2）。その後、スタンドを上を持ち上げます（3）。



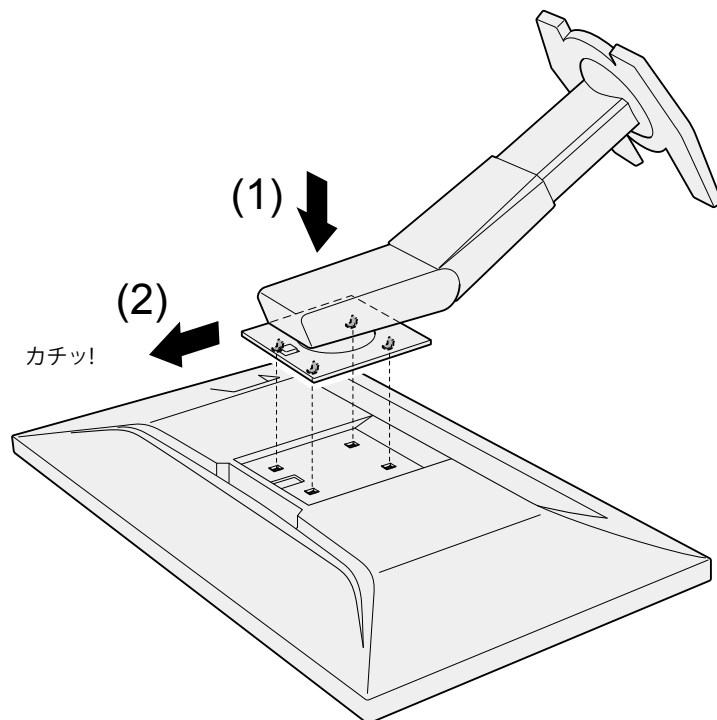
3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

この本製品に付属のVESAマウント取付用ねじを使って取り付けます。

●元のスタンドの取付方法

1. オプションアーム（またはオプションスタンド）を固定しているねじを外し、オプションアーム（またはオプションスタンド）を取り外します。
2. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
3. 元のスタンドを取り付けます。

図のように、スタンドのツメ（4つ）を、モニター背面の四角い穴に合わせて入れ（1）、スタンドを、モニター上部の方向へ、カチッと音がするまでスライドします（2）。

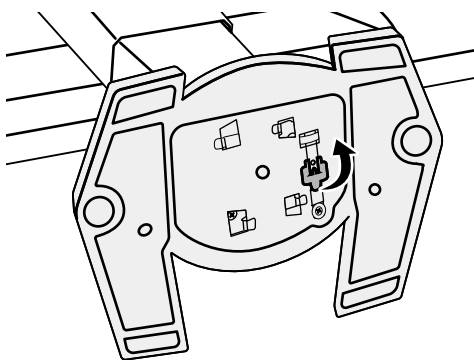


9-2. スタンドベース

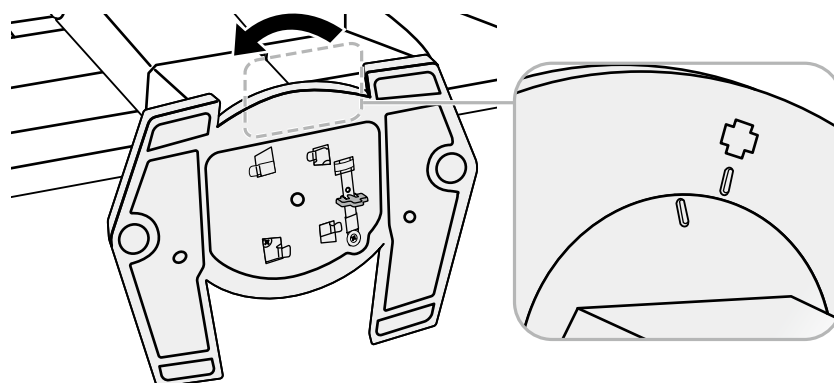
● 取外方法

セットアップ時に取り付けしたスタンドベースは、次の手順で取り外すことができます。

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. スタンドベースの裏面のレバーを起こします。



3. スタンドベースを反時計回りに回して外します。

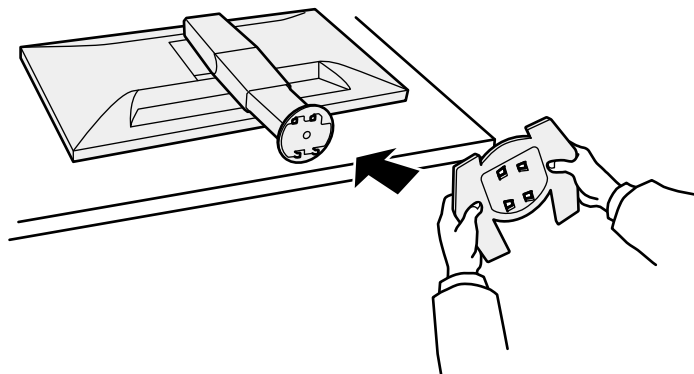


● 取付方法

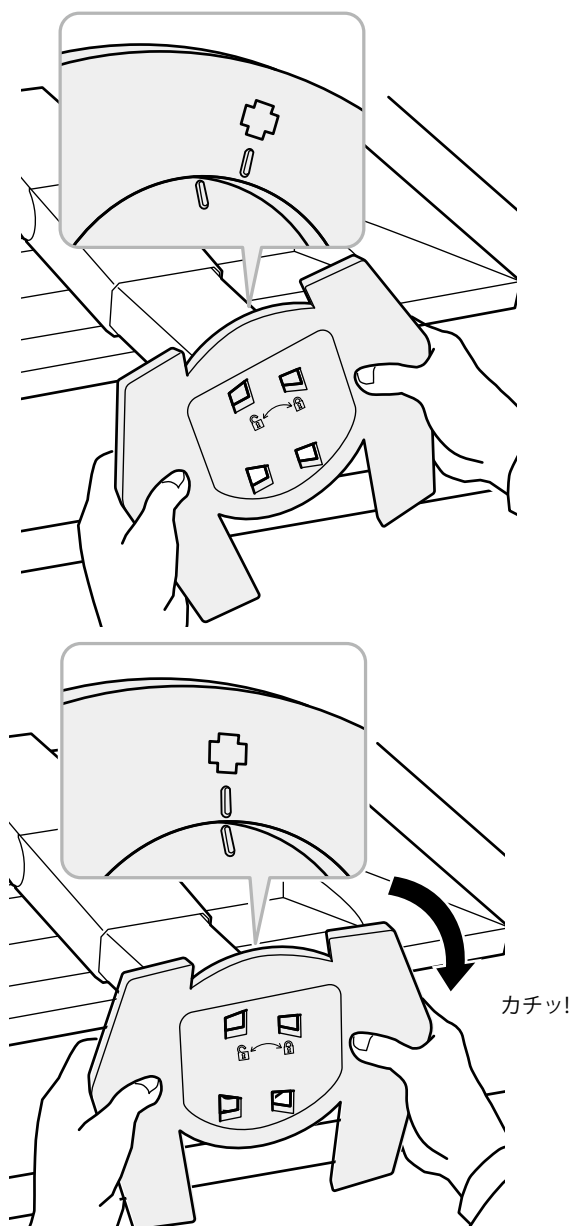
いったん取り外したスタンドベースは、次の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンドベースをスタンドの支柱にはめ込みます。



3. カチッと音がするまで、スタンドベースを時計回りに回します。

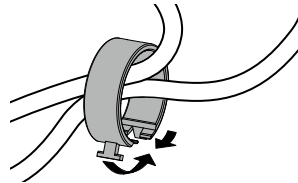


9-3. ケーブルホルダー

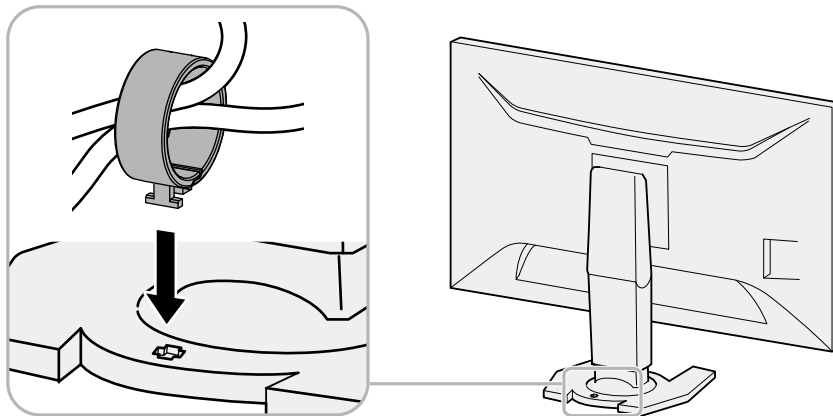
この製品にはケーブルホルダーが付属しています。モニターに接続したケーブル類を配線する際に利用してください。

● 取付方法

1. ケーブルホルダーにケーブルを通します。
2. ケーブルホルダーの下部を締めます。

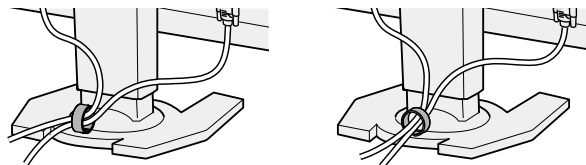


3. その状態のまま、スタンドベースに差し込みます。



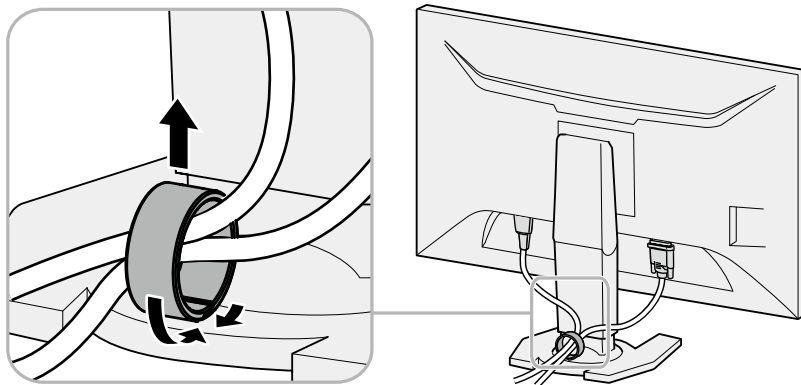
参考

- ケーブルホルダーは縦、横のどちらの方向にも差し込むことができます。ケーブルの配線状況に応じて、ケーブルホルダーの向きを変えてください。



● 取外方法

1. ケーブルホルダーの下部を締めます。
2. その状態のまま、スタンドベースからケーブルホルダーをまっすぐ上に抜き取ります。



第10章 仕様

仕様一覧

液晶パネル	種類	IPS（アンチグレア）	
	バックライト	LED	
	サイズ	68.5cm（27.0）型（可視域対角68.5cm）	
	解像度	2560ドット×1440ライン	
	表示面積（横×縦）	597mm×336mm	
	画素ピッチ	0.233mm	
	表示色	8bitカラー： 1,677万色	
	視野角 （水平/垂直、標準値）	178° / 178°	
	最大輝度	350cd/m ²	
	応答速度（標準値）	中間階調域 ^{*1} ： 4ms （オーバードライブ設定：強）	
	コントラスト比	1000：1	
	映像信号	入力端子	DisplayPort（HDCP）×1 HDMI（HDCP）TypeA ^{*2} ×2 DVI-D（Single Link / Dual Link、HDCP）×1
		デジタル走査周波数 （水平/垂直）	DisplayPort： 水平：31kHz～222kHz 垂直：49Hz～144Hz ・FreeSync（高）：56Hz～144Hz ・FreeSync（低）：35Hz～90Hz
HDMI： 15kHz～158kHz / 23Hz～144Hz			
DVI： 31kHz～159kHz / 59Hz～144Hz			
ドットクロック（最大）	DisplayPort： 587MHz HDMI： 286MHz DVI： 326MHz		
音声	音声入力フォーマット （DisplayPort、HDMI）	2chリニアPCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz / 88.2kHz / 96kHz）	
	スピーカー	1.0W+1.0W（8Ω）	
	ヘッドホン	2mW+2mW（32Ω）	
	入力端子	ラインイン： ステレオミニジャック×1 DisplayPort×1（映像信号と共用）、HDMI TypeA ^{*2} ×2（映像信号と共用）	
		出力端子	ヘッドホン： ステレオミニジャック×1 ラインアウト： ステレオミニジャック×1
USB	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2	
	規格	USB Specification Rev.3.0	
	通信速度	5Gbps（スーパースピード）、480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード）	
	供給電源	ダウンストリーム： 最大900mA/1ポート	
Bluetooth	規格	Bluetooth Low Energy	
	周波数帯域	2.4GHz ISM帯	
電源	電源入力	AC100V±10%、50/60Hz、0.9A	
	最大消費電力	87W以下	
	省電力時消費電力	0.5W以下（DisplayPort系統入力時、USB機器非接続時）	
	待機時消費電力	0.5W以下（USB機器非接続時）	
	主電源オフ時消費電力	0W	

機構	外観寸法	618.8mm×405.1~550.1mm×253.2mm (幅×高さ×奥行) (チルト角度35°時) 618.8mm×393.7~548.7mm×197.9mm (幅×高さ×奥行) (チルト角度0°時)
	外観寸法 (モニター部)	618.8mm×362.1mm×56.3mm (幅×高さ×奥行)
	質量	約7.1kg
	質量 (モニター部)	約4.6kg
	昇降	145mm (チルト角度35°時) / 155mm (チルト角度0°時)
	チルト	上35°、下5°
動作環境条件	温度	5°C~35°C
	湿度	20%~80% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	540hPa~1060hPa
輸送/保存環境条件	温度	-20°C~60°C
	湿度	10%~90% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	200hPa~1060hPa

※1 中間階調域の応答速度の平均値です。

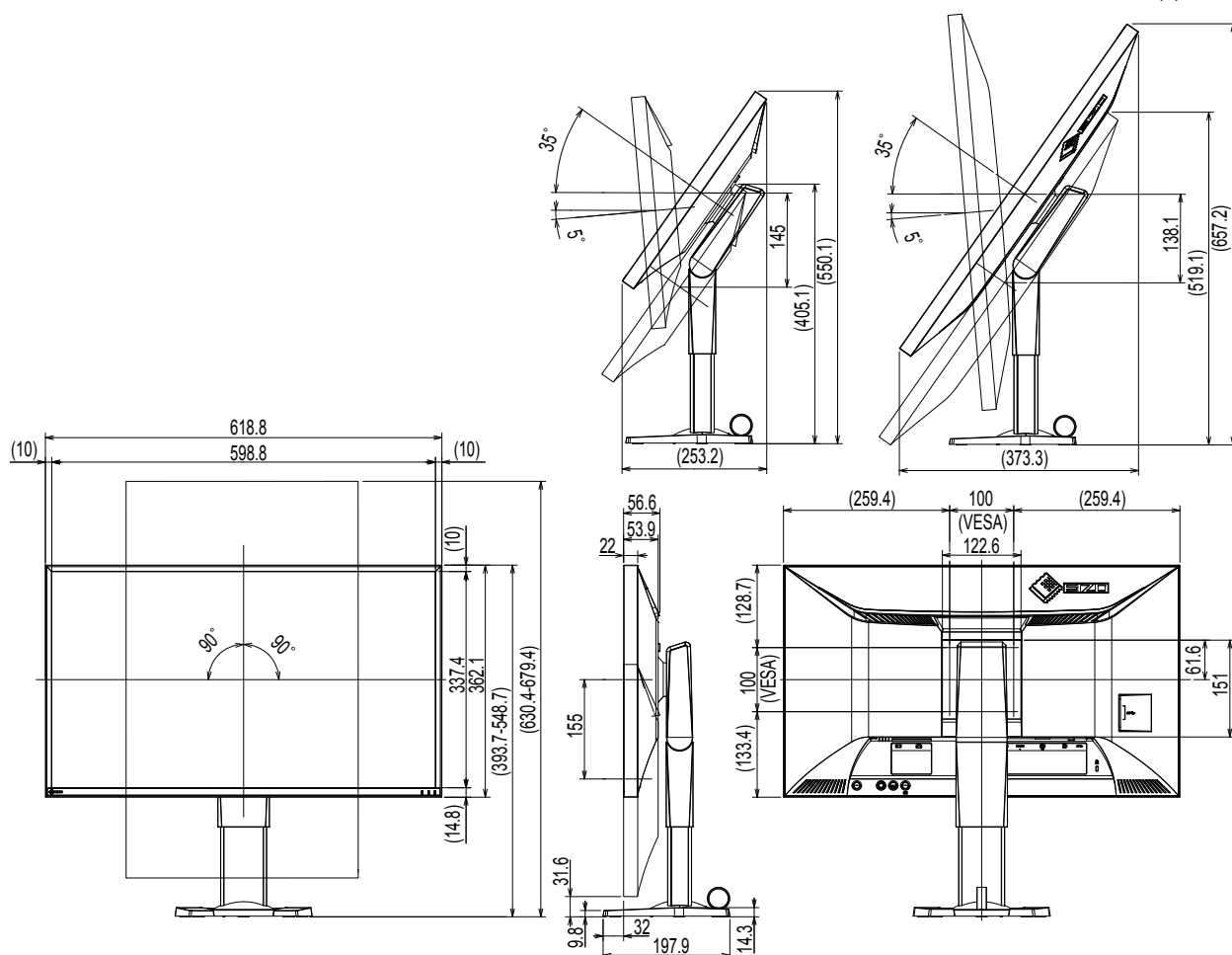
※2 HDMI CEC機能 (相互制御機能) には対応していません。

主な初期設定値

カラーモード	HDMI1入力時： User3 HDMI2入力時： User5 DVI入力時： User1 DisplayPort入力時： User1
画面拡大	DisplayPort入力時： アスペクト比固定 HDMI (PC信号) 入力時： アスペクト比固定 DVI-D入力時： アスペクト比固定 HDMI (ビデオ信号) 入力時： 自動
音声レベル	0
Bluetooth機能	オフ
Auto EcoView (オートエコビュー)	標準
入力自動検出	オフ
パワーセーブ	オン
ランプ輝度	4
言語選択	日本語
起動ロゴ	オン
操作ロック	オフ
信号フォーマット	FreeSync (高)

外観寸法

単位：mm



オプション品

信号ケーブル	DD200DL (DVI-DVI) (Dual Link)
信号ケーブル	PM200 (Mini DisplayPort-DisplayPort)
信号ケーブル	HH200HS (HDMI-HDMI)
クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。

<http://www.eizo.co.jp>

第11章 用語集

DDC (Display Data Channel)

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DDC/CI (Display Data Channel / Command Interface)

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DisplayPort

VESAによって標準化された映像信号のインターフェース規格です。従来のDVIやアナログインターフェースを置き換える目的で開発され、DVIでは対応していない高解像度の信号や、音声信号を伝送することができます。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

FPS (First Person Shooter)

主人公の一人称視点でゲーム中の世界を移動し、敵と戦うシューティングゲームのことです。

FreeSync

Advanced Micro Devices社（AMD）が開発したフラットパネルディスプレイのためのディスプレイ同期技術です。コンピュータの画像処理の負荷の度合いに応じて画面更新（リフレッシュ）のタイミングを動的に変化させることで負荷の大きい場面での不自然な動きや不完全な画面の更新を防ぎ、滑らかな映像を表示できます。FreeSyncを使用するためには、対応するモニターとグラフィックボードが必要となります。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVIコネクタやHDMIコネクタなどを經由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の1つである「DVI」をベースにして、家電やAV機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで伝送することができます。

RTS (Real-time Strategy)

リアルタイムに進行する状況下で、戦略を立てながら競技するゲームのことです。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横2560個、縦1440個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、2560×1440の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）、青の色差（U）、赤の色差（V）により表現するYUVや赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の階調により表現するRGBなどがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。ガンマ値が低いと中間階調が明るく、ガンマ値が高いと中間階調が暗く表現されます。ガンマ値を変えてもコントラストは変わりません。コンテンツによって適切なガンマ値を選ぶ必要があります。

ゲイン

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD Opteron、FreeSyncはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、iMac、iPad、Mac、MacBook、Mac OS、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

iPhoneはApple Inc.の商標です。アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

LinuxはLinus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

Red HatはRed Hat, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Android、YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

OpenGLはSilicon Graphics, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、EIZO株式会社はライセンスに基づき使用しています。

TwitterはTwitter, Inc.の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

Bluetoothに関する注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：EIZO株式会社 (<http://www.eizo.co.jp>)

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートネットワーク株式会社（EIZOサポート）にお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。エイゾーサポート一覧は次ページに記載してあります。

保証書について

- ・この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- ・当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中の場合
保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- ・保証期間を過ぎている場合
お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- ・お買い上げ年月日、販売店名
- ・製品名、製造番号
（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8桁の番号です。
例）S/N 12345678）
- ・使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

製品回収、リサイクルシステムについて

- パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。
- ・なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

● 法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

● 個人のお客様

PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

EIZO Webサイト：<http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html>

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

電話：045-226-4552

月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

ユーザー登録のお願い

お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、次のアドレスにアクセスし、ユーザー登録をお願いいたします。

<http://www.eizo.co.jp/registration/>



EIZO株式会社

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright© 2015-2016 EIZO 株式会社 All rights reserved.

第3版 2016年3月

03V25577C2
(U.M-FS2735)